

【PRESS RELEASE】

中央アルプスに野生復帰させたライチョウの越冬が確認されました

那須どうぶつ王国は、環境省らが取り組む「ライチョウ保護増殖事業」に(公社)日本動物園水族館協会加盟園館として参画しており、中央アルプスにおける個体群復活事業に協力しています。

環境省が3月23日に実施した調査によって、令和6年9月に当園から中央アルプスに野生復帰させた2個体(オス、メス)のうち1個体(メス)の生存が確認されました。この個体は、令和6年に人工育雛によって育てられ、初めて野生環境に放鳥された個体の1個体であり、人の手で育てられたライチョウが高山帯の厳しい冬を越えて生存していることが初めて確認されました。

今回確認されたメスは、オスと2個体で行動していました。一緒にいたオスは、令和4年に那須どうぶつ王国から野生復帰させた16個体の雛のうちの1個体でした。ライチョウの繁殖活動(なわばり形成やつがいでの行動、交尾等)は始まったばかりのため、この2個体がつがいになるかどうかは現時点ではわかりません。

中央アルプスにおけるライチョウの生息個体数調査は、環境省により4月から6月頃に本格的に実施される見込みです。この中で今回の調査で確認することができなかった那須から放鳥したオスや、市立大町山岳博物館から放鳥した5個体の生存状況調査も行われます。当園としては他の野生復帰個体も生き残っていること、そして今回確認されたメス個体が繁殖して雛を残すことを期待しています。

詳細につきましては、添付の環境省発表リリースをご参照ください。

また、今回生存が確認された個体の映像・画像は環境省より複数提供がありましたので、「提供:環境省」のクレジットを入れていただければご使用いただけます。使用を希望される場合は、ご一報ください。



生存が確認されたメス 【環境省提供】

那須どうぶつ王国 広報担当
〒329-3223 栃木県那須郡那須町大字大島 1042-1
TEL. 0287-77-1110 FAX. 0287-77-2001
E-Mail. miyachi@nasu-oukoku.com
王国広報担当 宮地さくら・平野知己